

- 主な記事
- 02 農業の明日を語る。
- 04 アスリートたちの熱い冬。
- 13 有線テレビ番組ガイド

●今月の表紙
第 32 回府民総体市町村対抗駅伝大会（2 月 14 日撮影）

2010 3

4月11日
午前7時～午後8時
(第19・第23投票所は午後6時まで)

第1 石田地区公民館	第13 算所会館
第2 弓木地区公民館	第14 加悦奥地区公民館
第3 岩滝ふれあいセンター	第15 加悦地域公民館
第4 真町会館	第16 後野地区公民館
第5 男山地区公民館	第17 与謝地区公民館
第6 三河内地区公民館	第18 滝地区公民館
第7 岩屋地区公民館	第19 奥滝会館
第8 四辻地区公民館	第20 金屋地区公民館
第9 上山田地区公民館	第21 温江地区公民館
第10 下山田地区公民館	第22 明石地区公民館
第11 石川農構センター	第23 香河地区公民館
第12 川上公民館	

京都府知事選挙
3月26日～**4月10日**
与謝野町長・与謝野町議会議員選挙
4月7日～**4月10日**
時間/午前8時30分～午後8時
場所/役場各庁舎

期日前
不在者投票

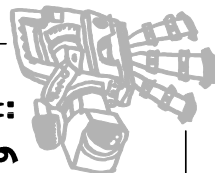
投票
できる人

満20歳以上（平成24年4月12日以前に生まれた人）で与謝野町の選挙人名簿に登録されている有権者（詳細は選挙管理委員会事務局まで）

●町有線テレビ加入者の皆さんへ

**選挙開票速報
生中継を行います!!**

与謝野町有線テレビ（KYT）では、4月11日の投票日当日、特別番組として「選挙開票中継」を午後9時から生放送する予定です。



一票で 私も参加の まちづくり。



丹後で作られる 京野菜の魅力

宮川 俊二 (以下宮川) 京野菜との出会いは、一昨年の12月、東京のイタリアンレストランのオープンニングパーティーで香山喜典さんと名刺交換をしたことに始まります。

香山喜典 (以下香山) 京野菜は京都市内で作られていると思われていますが、実は丹後で作っているものが多いんですよ、と紹介しました。

宮川 一度送ってもらって食べてみると、今まで食べたことのない強い味に驚きました。

太田 眞実 町長 (以下町長) 結婚して丹後に来た40年前は、ほとんど京野菜は栽培されていませんでした。近年、関係機関の協力を得て京都市が普及に力を入れ始め、広い丹後の土地でたくさん栽培されるようになってきました。

宮川 これまで丹後を4回訪れていますが、すごいポテンシャル

[巻頭特集◎特別対談]

農業の明日を語る。

フリーキャスターでも知られる宮川俊二さんと天橋立ホテル和食料理長の円城寺利之さん、「京の豆っこ米」や京野菜を販売する京都祐喜株式会社代表取締役の香山喜典さんの3人が2月16日、町長のもとを訪れ、京野菜の魅力やこれからの農業について意見交換しました。



町長 私は東京出張の際、パートに足を運び、着物や野菜などの市場調査をするようにしていますが、結構な値段がしますね。

宮川 京野菜はいいものですが、東京では流通の問題で高価格です。そのわりに生産者や産地が潤わないという矛盾も抱えています。まだ、消費者は京野菜には懸念があっても、今一歩踏み込めないというのが課題ではないでしょうか。

町長 着物でも同じことが言えると思います。

宮川 円城寺さんは東京や大阪で丹後の食材を使った料理イベントをやっておられますが、今度は逆に東京のシェフを丹後に



「丹後の魅力を伝える
お手伝いができれば」

「京野菜は本当においしい。
自信を持っていただきたい」

呼んで、丹後の食材を使って、東京ではこんな風に提供されています」とまちの皆さんに料理を食べてもらう試みをやってみた、と考えています。これが相乗効果となり、生産者の方たちのモチベーションにもなるのではないのでしょうか。

町長 せっかくなのでおいしい野菜もおいしい料理にしてみたいと生きていきます。料理人が求める「ほんまもん」の素材が丹後にはありますよね。

地域の、素材の 魅力を伝える

円城寺利之 (以下円城寺) 天橋立ホテルのリニューアルと同時に、嫁あつて丹後に来ることになりました。ホテルでは与謝野町産「京の豆っこ米」を約2年半前から使いはじめ、今では最もたくさん提供しているホテル・旅館です。

香山 ちょうどホテルがリニューアルした当時から納品させてもらっていて、お客さんからも好評をいただいていると聞かれています。

円城寺 丹後という土地は、お米をはじめ素材の良さが売りたいと思います。今後は、いろいろ



対象の様子。町からは町長のほか、農林課長、農林政策推進室も同席。香山喜典氏も同席。アイディアが飛び出し、1時間には過ぎました。

な機会を通して、丹後の食材を使った手軽な調理方法などを広く発信し、丹後の魅力を伝えるお手伝いができればと思うています。

宮川 円城寺さんは、今は与謝野町民ですが、いわゆる「よそ者」ですから、逆にこのまちの魅力を伝えていくのではないのでしょうか。

町長 地元の人たちにとってこの恵まれた自然は当たり前のもので、生かされていないと

ころもあります。

宮川 私は「おいしいから皆さんに紹介したい」と、勝手に丹後の広場園をやっています。もつと与謝野町の魅力が全国に発信されたいなと思っています。そのためには、誰か一人、地域のスターになる人材が必要で、情報を回していかなければなりません。

町長 そうですね。地域活性化で成功しているところには必ずそういう人がいます。そういう人材の育成が必要ですし、与謝野町もその情報の波の中に入っていきたいですね。また与謝野町では、学校給食にも「京の豆っこ米」を使用し、「京の産地潤」を実践しています。子どもたちはいつもおいしいお米を食べているので、修学旅行で

宿泊した旅館やホテルの飯が「うまにや〜」と。

一同 (笑)

円城寺 そういった子もたちが都会に出て行かなくても、農業を魅力ある仕事として考えられる環境づくりに取り組んでいく必要がありますが、これは地域全体で考えていかなければならない問題ではないのでしょうか。

◇

宮川 丹後で、そして与謝野町で作られるお米や野菜は本当においしいものばかりです。地元の方にはぜひ自信を持っていただきたいですね。また伺わせていただきます。

町長 皆さんには、「明日の農業」を考えて、「豆っこ米」をたくさんいただきました。これからの活躍にも期待しています。本日はありがとうございました。

Profile (※東京から・敬称略)

宮川 俊二

みやがわしゅんじゅん ●元NHKアナウンサー。現在はフリーのキャスターとして情報番組、クイズ、バラエティ等幅広い分野で活躍。早稲田大学非常勤講師、JSA認定ワイルド・エキスパート

円城寺利之

えんじょうじとしゆき ●天橋立ホテル和食料理長。大阪府豊中市の日本料理店で15年以上上場行い、3年前に天橋立ホテルの和食料理長に。現在は下山田在住

香山 喜典

かやまよしのり ●京都祐喜株式会社代表取締役。三河内在住。町内の生産者を栽培した「京の豆っこ米」や京野菜などの流通・販売。さらにその魅力を発信中

アスリートたちの熱い冬。

CLOSE UP

バンクーバーオリンピックに負けず劣らずの活躍を全国の舞台でみせてくれた与野町のアスリートたち。冬の寒さも吹き飛ばす熱戦の模様をアスリートたちの声とともに振り返ります。

中高生アスリート 全国大会結果

全国大会の盛況、これからの抱負などについてインタビューしました。
※全国中学校スキー大会には、江崎中1年の小嶋重太君も出場しましたが、選征中のため次号で結果を紹介します。



2010日本ジュニア室内陸上競技大阪大会
中学生の部 男子800m 出場 (2/10～11・大阪市)
一色 恭志 君 (高校中3年)

「3位という結果には納得しています。決勝2組中1位でしたが、競れる人がいなかったのが力が出せなかったんです。仙台育英高校に進学後は、インターハイと全国高校駅伝に出ることが目標です」



2010日本ジュニア室内陸上競技大阪大会
中学生の部 女子60mH 出場 (2/10～11・大阪市)
中村 有希 さん (高校中2年)

「目標は決勝進出だったのですが、8位という結果には満足しています。今年は3年間の締めくくりの年。全国大会、ジュニアオリンピック、室内陸上と全部に出場して決勝に残り、納得のいく順位をとりたいです」



第47回全国中学校スキー大会
男子SL 出場 (2/3～6・岩手県)
矢野 広大 君 (高校中1年)

「初の全国大会。周りの選手がすごかったです。レースでは、コースから外れる失敗をしてしまいましたが、悔いのない滑りができてました。来年は速い人がいてもつられず、自分の滑りがしたいです」(1本目で落選)



第59回全国高等学校スキー大会
男子SL・GS 出場 (2/3～7・北海道)
後藤 博史 君 (高校高3年)

「短い期間でのトレーニングでしたが、本番直前に感覚をつかむことができ、『よな』とスタート台で感じました。攻めるレースができたので悔いはありません」(SL83位・GS途中棄権)



第47回全国中学校スキー大会
女子SL・GS 出場 (2/3～6・岩手県)
岩谷 千咲 さん (高校中2年)

「100位以内が目標でしたが、どちらも転倒してしまいました。去年に続く2回目の全国大会ということで練習の時から自分のペースで滑れました。来年は結果を滑せようがんばりたいです」(SL・GS途中棄権)



第47回全国中学校スキー大会
女子GS 出場 (2/3～6・岩手県)
平 奈那美 さん (江崎中1年)

「これまで指導を受けてきたことが発揮できませんでした。トップの人たちの攻める滑りを見ることで、いい経験ができました。来年も出れるようがんばって練習していきます」(116位)



第59回全国高等学校スキー大会
男子SL・GS 出場 (2/3～7・北海道)
富田 祐二郎 君 (高校高1年)

「中学時代も全国大会に出場しましたが、インターハイはレベルが違っていて、今の実力ではまだですが、来年は今年よりもっと練習を積んで上位に入りたいです」(SL71位・GS109位)

大阪国際 女子マラソン

「2010大阪国際女子マラソン」が1月31日、大阪・長居陸上競技場発着の42.195kmで行われ、木崎良子さん(下山田出身)と平井琴加さん(四辻)が出場し、波逆路を快走しました。



府民総体取組を始めた与野町チームが練習する市場小グループに顔をそろえた平井琴加さん(左)と木崎良子さん(右)

平井 琴加 さん (野田川クラブ) 家族への思いを胸に。

「木崎さんが出る」と聞いて、大阪国際女子マラソンの出場を決めました」と笑顔で話す平井琴加さんは2児の母。中学、高校、短大と陸上部で活躍後、結婚と出産のため競技を離れることに。しかし、「学生時代は2位ばかり。市民ランナーの1位になりたい。そして母親だってできる」と出産後、4年間のブランクを経て競技に復帰しました。初マラソンは2年前の福知山マラソン。3時間2分33秒で7位に入り、昨年3月の名古屋国際女子マラソンにも出場。2年連続出場した福知山マラソンでは2時間53分13秒で5位入賞と記録を伸ばし続けています。

しかし、その活躍の影には母親ならではの苦労もあると言います。「練習は育児や仕事の合間の限られた時間で行っています。朝5時に練習を開始することもありますし、40km走を走ってから仕事に行ったこともあります」。大阪国際女子マラソンの当日は、応援に駆けつけた家族の声援を背に受け、4回目のマラソンに挑戦。冷たい雨が降り続く厳しいレース展開に体力を消耗し、倒れこみながらのゴールとなりましたが、2時間49分5秒(25位)の自己ベストをマークしました。

「子どもたちがいるからがんばれる。自分の走る姿を見て何かを感じてもらえたらうれしいですね」。家族への思いを胸に、これからも走り続けます。

木崎 良子 さん (ダイハツ) 初マラソンで課題と収穫を手に。

日本女子長距離界の若手有望株としての期待を背負い、日本中の注目を集める中で迎えた初マラソン。

「スタートまでは不安な気持ちもありましたが、出発すると強気でレースに挑むことができました」

その言葉どおり、前半は大会記録に迫るハイペースの中に、つづけた木崎さん。中間地点まではハーブの自己ベストに迫る勢いで「早く感じた」と振り返ります。

しかし、23km地点で集団から遅れ始めると、「30kmを過ぎてからは前の選手も見えなくなり目標がなくなった」と一人旅の苦しいレース展開に。さらに冷たい雨も追い打ちをかけ、「35km過ぎてからはまっただけのように走れず、寒さと気持ちの面で負けてしまいました」と、2時間27分34秒の6位でゴールテープを切りました。

木崎さんにとっては悔しさの残るレースになったものの、「前半のハイペースについては収穫」と今後に向けて明るい材料もあったと言います。

「遠いレース展開になったのも余裕を持って対応できるようトラックでスピードを磨き、世界選手権の選考会となる来年の大阪が名古屋でマラソンに再挑戦したい」と意気込みを語る木崎さん。「家族を海外に連れていきたいです」。その言葉には力が込められています。

足からはじめる運動教室

平成21年度から町と神戸大学大学院人間発達環境学研究科・岡田大輔教授の研究チーム、足の健康を考へる会社「フットクリエイト」が連携し、共同事業として5年間、個人の健康、地域の健康、町の健康を目指して、「足からつくる健康プロジェクト」を進めています。

皆さんは、普段の生活の中で「足」と「靴」にどれだけ注目して過ごしていますか。
「歩くときの姿勢なんて気にしない」「靴のサイズが合っていないけど履けるからいいか」「靴なんてどれも同じでしょ」などと思いませんか。
足元を良化するだけで、「足元が変わると身体が変わる!」「身体が変わると心が変わる!」。そんな思いを実感できるのです。



ウォーキング講座の様子

このプロジェクトの一環として「足からはじめる運動教室」を平成21年6月29日から12月7日まで約半年間にわたり実施しました。

活動的な85歳を贈るため、「足・靴からの健康習慣をつくろう」「若いうちから足・靴に注目してもらおう」との思いで始めたこの教室の内容を紹介いたします。

① 体験

基礎体力づくりやちょっとした運動が習慣になることを目標にして進めていきました。健康運動士に指導を受け、自宅でできる宿題ストレッチ・宿題筋力トレーニングを無理のない範囲で実施してもらいました。また、万歩計をつけ、毎日の歩数を記録してもらいました。参加者は万歩計をつけたことで、「目標歩数まで歩こう」「今日は昨日よりたくさん歩きたい」という思いがふつふつと湧いていたようです。

② 屋外ウォーキング

古墳公園周辺やよりめん街道を巡った加悦コース、阿蘇シーサイドパークや板列八幡神社を巡った岩瀬コース、天橋立を往復したコースの計3コースを歩きました。仲間と歩くことで、知っているはずの景色も特別なものに感じられ、自分たちの街の

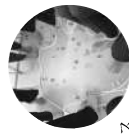
魅力を再発見。特に天橋立のウォーキングは好評で「また歩きたい」との声がありました。

③ ミニウォーキング講座

日本ウォーキング協会認定指導者であるフットクリエイトに、ウォーキング前に正しい歩き方を教わりました。また、足や靴についての話を聞き、参加者同士で意見交換をする中で、新たな気づきや興味が参加者の中に芽生えていました。

④ 足を使ったレクリエーション

大きな縄の輪を足でつかみ、みんなの息を合わせて回すタイムリースや、スーパードリルの早足踏み、タオル綱引きを行いました。「足がだるい」「つらい」「まだの足が飛び交う中、真剣勝負のゲームに夢中でした。」



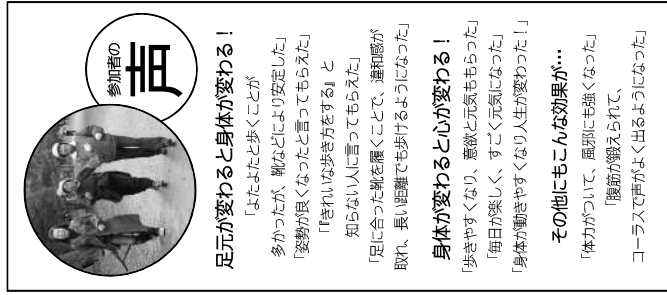
大きな縄の輪を足でつかみ、みんなの息を合わせて回すタイムリースや、スーパードリルの早足踏み、タオル綱引きを行いました。「足がだるい」「つらい」「まだの足が飛び交う中、真剣勝負のゲームに夢中でした。」

足元が変わると身体が変わる!

「よたよたと歩くことが多かったが、靴などにより安定した」「姿勢が良くなったと言ってもらえた」「『きれいな歩き方をすると知らずに言うってもらえた』『足に合った靴を履くことで、違和感が取れ、長い距離でも歩けるようになった』」

身体が変わると心が変わる!
「歩きやすくなり、意欲と元気も増えた」「毎日楽しく、すくすく元気に」「身体が動きやすくなり人生が変わった!」

その他にもこんな効果も...
「体力がついて、風邪にも強くなった」「腰筋が鍛えられて、コーラスで声がよく出るようになった」



足元が変わると身体が変わる!
「よたよたと歩くことが多かったが、靴などにより安定した」「姿勢が良くなったと言ってもらえた」「『きれいな歩き方をすると知らずに言うってもらえた』『足に合った靴を履くことで、違和感が取れ、長い距離でも歩けるようになった』」

足元が変わると身体が変わる!

「よたよたと歩くことが多かったが、靴などにより安定した」「姿勢が良くなったと言ってもらえた」「『きれいな歩き方をすると知らずに言うってもらえた』『足に合った靴を履くことで、違和感が取れ、長い距離でも歩けるようになった』」

身体が変わると心が変わる!
「歩きやすくなり、意欲と元気も増えた」「毎日楽しく、すくすく元気に」「身体が動きやすくなり人生が変わった!」

その他にもこんな効果も...
「体力がついて、風邪にも強くなった」「腰筋が鍛えられて、コーラスで声がよく出るようになった」

がんばってます!消防団

編集 ● 加悦方面隊



「第26回京都府消防大会」

与謝野町消防団に授与されました

府内の消防関係者約2000人が集まり、「第26回京都府消防大会」が2月7日、京都国際会館で開催され、与謝野町消防団に京都府知事表彰旗が授与されました。



授与された表彰旗

山田啓二京都府知事から表彰旗が授与されました



昨年11月に行われた表彰調査活動内容の裏面写真の後、火災想定訓練などさまざまな実地訓練を披露し、「誠意官から『極めて優秀』と評価されました」

防災思想の普及や消防施設の整備、災害防衛に関する対策の成果を特に優秀で模範と認められる消防団に授与される「京都府知事表彰旗」。今回授与された表彰旗は、新たに採用された爽やかな緑色で彩られており、旧町消防団で積み重ねてきた歴史と伝統が融合し、新しく誕生した与謝野町消防団にふさわしい表彰旗となっています。

この日は、団体表彰のほか個人表彰も行われ、与謝野町消防団からは岡田秀樹副団長が知事表彰功労章を受章、さらに永永誠分団長(岩瀬④)、三好中一生分団長(加悦⑤)、今田若生分団長(野田④)、野田治副分団長(野田④)の5人が知事表彰功労章を受章しました。

表彰式終了後、約300の団体・個人表彰者を代表し、谷田久典団長が「誇りと自覚をもってさらに研鑽に努めたい」と謝辞を述べました。

式典では、井上親隊長以下クラブ隊12人と京丹後市クラブ隊により結成された丹後ブロンズクラブ隊が高らかな音声を響かせていました。

消防団では、今回の受賞を励みに、さらに充実した消防活動を展開しますので、町民の皆さんも安心安全の町づくりに向けてより一層のご理解と協力をお願いします。



左/多数の表彰者を代表し謝辞を述べた副団長 上/連日の練習の成果を披露したクラブ隊



⑤ 体力測定

基礎体力をはかる検査から足の機能に注目した検査まで、全15項目の体力測定を実施。自分の足の診断結果も知ることができました。

体力測定結果を評価した岡田教授は「年をとるとともに体を動かす能力は下がるが、運動することで筋力は鍛えられる。歩くことで筋肉は使われるため、年をとればとるほど、ウォーキングはとってもいい運動になる」と話していました。

興味のある方はお気軽にご参加ください

平成22年度も引き続き「足からはじめる運動教室」を予定しています。「正しい歩き方を知りたい」「なんだか疲れそう」と興味を持った方、一緒に足から健康をつくっていきましょう。

昨年12月、私は友達に勧められて、人形劇を見に行きました。思ったよりよかったので皆さんとその喜び、そして感動を共にできればと思って今回のコラムに書いてみます。

この人形劇は、言葉を使わずに身ぶりや手ぶり、道具、照明、音楽などを頼りに、約1時間半のストーリーを観客に見てもらったショーでした。

正直に言うと、私の興味は言葉です。言語が好きなので、言葉なしの生活や耳が不自由な方の気持ちを一切知らず、関心もありませんでした。だから、人形劇のストーリーが分かるのかと、不安を持ちながら見に行きました。

実際に見てみると問題はまったくなく、うれしい驚きでした。言葉を

使わずに劇を演じることがすごく難しいですが、それだけではなく、ほとんどの道具は装飾されていないサイズが違いう箱だけでした。なのに、人形たちや役者の行動で、「あ、この箱はエアコン。あの箱はカメラ」とどんどん気づき、何も意味がなかった箱にいきなり意味が出てきます。観客

の想像力に訴えかける、考えさせられる人形劇でした。その上、身振りや手振り、表情などで、人物の喜怒哀楽や時間の流れ、そして場所を感じさせ、大変素晴らしい出来映えでした。

この人形劇を通じて、私はあることを強く感じました。我々は言葉に頼りすぎているのではないかということです。

誤解しないでください。もちろん人類の歴史を通して、言語は欠かせない存在で、大切なコミュニケーション手段です。言葉がなくなったら、我々の生活は大変不便になり、大混乱になるでしょう。

しかし、会話能力に頼りすぎて、言葉が通じない外国に行く、または外国の人と会うと自信がなくなる人は少なくないでしょう。私もその一人です。言葉が通じない国に行くのはやはり怖いです。でも、この考え方は間違っているのではないのでしょうか。人形劇のように、体や表情である程度通じるのではないのでしょうか。我々は自分の言葉なしのコミュニケーション能力を過小評価しているのではないのでしょうか。



昨年12月19日、野田川わくばで開催された「デフ・ハベットシアター・ひとみ」による人形劇「はこ/BOXES いじちゃんオルゴール」

時の贈り物 [第46回縁から生まれた三つの短歌]

まちの文化財



板列八幡神社に建立された歌碑

山地区にある板列八幡神社の境内には、近代歌壇で活躍した3人の歌人がここで詠んだ短歌の歌碑が建てられています。この碑が建立されるまでの経緯には、板列八幡神社の宮司を勤め歌人として活躍した毛呂清春の長年の想いが含まれています。毛呂清春は、男山村(現与謝野町)男山に所在する板列八幡神社の宮司を務める家系に明治10年に生まれました。神職を目指して現在の國學院大学で学び、国文学者で歌人の落合直文に師事して直文の設立した歌塾「あさ香社」へ入門し、門下の与謝野鉄幹(寛)のもと親交を深めました。そして、明治35年には、清春から招かれた落合直文自身が丹後地方を訪れることとなり、板列八幡神社にも参詣して次の短歌を詠み

この歌は、朝霧に包まれてなかなか姿を現さない天橋立をこの目で見ようとはやる気持ちを抱えて待つ直文の心情を表しています。それから度々兩度と20年余りの昭和五年、与謝野寛・豊子夫妻が丹後地方を訪れた際には、師匠の落合直文の足跡を追って同地に赴き、次の短歌をそれぞれ詠み上げました。

御柱にわが師の御名の残るにもぬかつき申す岩瀧の宮 寛
海の気と山の雪の石瀧るゝ 豊子
八幡の神の与謝の御社 島子

これらの歌の中には、師匠である落合直文に対する深い敬愛の心が込められています。

その後、東京へ転じた清春は、恩師の落合直文や与謝野寛・豊子夫妻がらるさと岩瀧に残したこれらの足跡を後世に伝えることを切望しました。そして、地元の人権神社有善らの援助を受けて、昭和35年4月によろやく歌碑が完成し、除幕式が行われました。

今も天橋立を見下ろす境内に、この地を訪れた3人の歌人の残した短歌が石に刻み込まれており、当時と変わらぬ天橋立の姿を望むことができます。

(与謝野町教育委員会)

図書館へ行こう！

BOOKS

●今月のオススメの一冊

日本語を学ぶ!!

新生活や新学期を迎える春は、人との出会いも多くなる時期です。人間関係をスムーズにするのに欠かせない私たちの言葉、「日本語」を見直してみませんか？



『日本人の知らない日本語』
蛇蔵・海野 equal / メディアファクトリー

「冷める」と「冷える」の違いを質問されて、説明できますか。日本語学校講師の著者と外国人学生との日常を楽しみマンガで紹介した本。当たり前に話しているのに気づかない日本語の謎が書かれています。



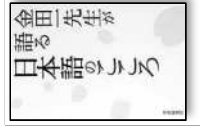
『世界のあいざつ』
長新次 / 福音館書店

おじぎは日本ではみなさんがするあいざつの一つですが、世界では両手でこぶしをつくったり、舌をぺろりと出したり…。さまざまなあいざつをマンガ風の絵で紹介した、おもしろくするための面白い一冊。

『金田一先生が語る日本語のころ』

金田一春彦 / 学習研究社

日本語の中には、日本人の四季や暮らしに根付いた日本人の心を表す美しい言葉がたくさんあります。「桜吹雪」など、その言葉にまつわる話や由来を書者がテレビで紹介・解説したものがまとめられています。



『子どものための敬語の本 美しい日本語を話そう』

ながたみかこ / 文芸春秋

正しい敬語を使うことは、社会のさまざまなルールを学ぶことになります。敬語の基本を紹介する1巻、実際の使い方を学ぶ2巻、まちがえやすい敬語の会話例を紹介する3巻の全3巻のシリーズです。



『もつも』の「言」を知りたいなら『言はせぬ』
森崎真一 / 監修 / 小学館

日常の場面ごとに効果的な最初の一言や相手を引きつける気のきいた言い回しを集め、ニュアンスの違いや使用法を解説。「こういうときにどういえばいいの？」といった疑問に答えてくれる本です。



『弥次さん喜多さんのお笑いにほんご塾』
十返舎一九(原作) 斎藤孝(作) / PHP研究所
「声に出して読みたい日本語」の著者が、江戸時代に書かれたお話「東海道中膝栗毛」をこざわざと慣用句を使って、子ども向けのお話に書き直した本。楽しいドタバタ道中を通して、あなたも日本語の達人に。

今月の新着図書

【一般書】 ●『リボ貧困大国アメリカ2 (岩波新書 新赤版 1225)』堤未果 / 岩波書店 ●『平城京 平成遷都1300年記念(別冊大隅)』千田裕 監修 / 平凡社 ●『おうちでパーティ1 親子で楽しむちっちゃなおもてなし』赤ちゃんとママ 編集部(編) / 赤ちゃんとママ社 ●『教えるの井戸』京原夏彦 / 中央公論新社 ●『Nのために』淡かなえ / 東京創元社 ●『虚線』堂嶋順一 / 文藝春秋 ●『最終定理 (海外SF / ヴェルネ)』アーサー・C. クラーク / 早川書房
【児童書】 ●『情報整理する新聞術 (学び力アップ道場2)』岸尾祐二 監修 / フレネル館 ●『昭和のくらしがわかる事典「いま」とどうちがう?』早川典子 監修 / PHP研究所 ●『コプタのしたこと』ミレイユ・ヘウス / あすなろ書房 ●『はみだしインディアン』ホントにホントの物語。シャーマン・アレクシー / 小学館 ●『はるだはるだよ! 10ひきのかえる』間所ひさこ / PHP研究所 ●『さくら (かがくのとも絵本)』長谷川摂子 / 福音館書店

Topics

すぐに使えるおはなし小道具作りに挑戦!!

長岡京市在住でさき文庫を主宰する大西廣子さんを講師に迎えて、「おはなしステッピング講習会」を2月20日、知遊館で開催しました。

小道具作りの前には、講師が「ネルシアター」や作成する小道具の見せ方を実演。その後、牛乳パックを使った「ぶらぶら人形」と「かわりサイコロ」作りに取り組み、参加者は工夫した小道具を仕上げていました。



図書館おはなし会

<本館> 4月3日(土) 10時30分～、15時～
<野田川分室> 春のお話会 3月20日(土) 14時～
<加悦分室> 3月13日(土)・4月10日(土) 15時～

住所が変わったときは必ずご一報を!

住所などに変更がある場合は、図書館にご一報ください。また、町外へ転居される際に貸出中の図書がある場合、期限までの返却をお願いします。

●問い合わせ先 / 与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087
●開館時間 / 午前 10時～午後 6時 ●休館日 / 毎週月曜 (本館・加悦分室)、毎月最終木曜 (共通)

番組ガイド

今月のオススメ!!



■卒業証書授与式・入学式

与謝野町内の9小学校の卒業証書授与式
と入学式、3中学校の卒業証書授与式をお
送りします。

■3月15日から4月15日までのラインナップ

放送日	放送内容
3/15 (月)	知っとコーナー、ふるさと情報、ロッキンの世界一周 (ふるさと瓦版総集編)
16 (火)	町議会3月定例会・一般質問【録画】
17 (水)	加悦中学校卒業証書授与式
18 (木)	江陽中学校卒業証書授与式
19 (金)	3/17の再放送
20 (土)	3/18の再放送
21 (日)	放送なし(巻分の日)
22 (月)	放送なし(振替休日)
23 (火)	知っとコーナー、ふるさと情報
24 (水)	橋立中学校卒業証書授与式
25 (木)	与謝・加悦・桑飼小学校卒業証書授与式
26 (金)	広報ビデオ
27 (土)	3/24の再放送
28 (日)	3/25の再放送
29 (月)	知っとコーナー、ふるさと情報
30 (火)	三河内・岩屋・市場小学校卒業証書授与式
31 (水)	山田・石川・岩滝小学校卒業証書授与式
4/1 (木)	懐かしのメロロディ(住民提供番組)
2 (金)	広報ビデオ
3 (土)	3/30の再放送
4 (日)	3/31の再放送
5 (月)	知っとコーナー、ふるさと情報、ロッキンの世界一周
6 (火)	テレビ交通教室
7 (水)	NHKビデオ きょうの健康
8 (木)	てれびふるさと塾「足からはじめる運動教室結果報告会」
9 (金)	町長・町議会議員一般選挙広報番組
10 (土)	制作番組総集編
11 (日)	特別番組(中継)町長・町議会議員一般選挙開票速報 (21:00～)
12 (月)	知っとコーナー、ふるさと情報、ロッキンの世界一周 (ふるさと瓦版総集編)
13 (火)	三河内・岩屋・市場小学校入学式
14 (水)	山田・石川・岩滝小学校入学式
15 (木)	与謝・加悦・桑飼小学校入学式

PROGRAM GUIDE
3/15 ~ 4/15



■ 選拔開票現場中繼

4月11日は与謝野町長・町議会議員一般選挙の投票日です。そこで、特別番組として「選挙開票場中継」を午後9時からお送りする予定です。

牛放送

選等開票速報

4月11日(日)午後9時から

■番組内容と放送時間

【本放送】 午後8時から
・日曜日
制作番組総集編
(前の週に放送した制作番組をまとめて放送します)
・月曜日
知ってコーナー、ふるさと情報、ふるさと瓦版総集編
(今週の主な行事、ちょっとしたまじの話題などを放送します)
・火曜日から木曜日
ふるさと瓦版、制作番組
(制作番組とまじの話題を一挙放送)
【再放送】 午後9時、翌日の午前9時、午後9時15分、午後3時

■ダビングサービス

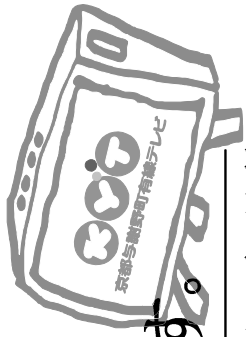
放送した番組を有料でダビングするサービスがあります。1番組当たり300円。各料金窓口でも受付できます。

問 与謝野町有線テレビ ☎ 43-2378

新しい“顔”で
有線テレビが

与謝野町有線テレビのロゴマーク、
デジタル変換の導入についてお知らせします

今回は新しいロゴマークとデザイン
変換の詳細をお知らせします。また、
有線テレビの放送予定「番組ガイド」
を今月号からお届けします。



一、決まり口

与謝野町有線テレビの
新ロゴマークをお知らせします

与謝野町有線テレビ（KYT）は4月1日、岩滝・野田川地域にエリアを拡大し、新しく生まれ変わります。そこで、今回の事業を有線テレビの再出発と位置付け、このたびロゴマークを一新しました。

ロゴマークのデザインは、職員、当事業の元
請事業者らで構成するワーキンググループで検
討を重ね、2月26日、報道発表をしました。
2種類のマークは、テレビ放送、文字
放送、データ放送、ホームページ

ジ、広報誌など、各種
メディアで利用します。
皆さんよろしくお願
いします。



パターン①

京都与謝野町有線テレビ

バッテリー②



京都

与謝野町有線テレビ



デジタル変換

**CATVなら地上シ移行後も
アナログ放送が視聴できます**

昨年の鳥取野町有線テレビ拡張事業の説明会などでは、平成23年7月の地上デジタル放送への完全移行後も「数年間はケーブルテレビでアナログ電波を送ることをできる予定」との説明をいたしました。これは国の情報通信審議会の次中間答申の「地上デジタル放送の利活用」の在り方と普及に向けて行政の果たすべき役割」において「ケーブルテレビでのデジタル変換の暫定的導入の促進」が提言されました。その中で、ケーブルテレビ事業者側の取り組みとして、デジタル波をアナログ波に変換し放送する「アナログ変換」の暫定的導入を進めるように」との内容が明示されました。

デジタル交換は、使用可能なアナログテレビを地上アナログ放送の停波後も継続して使用したいという要望や、各家庭にある2台目、3台目のアナログテレビの計画的な買い替え、またアナログテレビの廃棄・リサイクルの平準化に有効なことから賛定例に導入されます。与謝野町有線テレビでも提言に基づき、デジタル交換の取り組みを進める予定としています。

実施期間は平成23年7月24日から平成27年3月末日までと指定されていますので、アナログ放送停波後およそ3年8カ月の間はアナログテレビ、アナログ機器でもケーブルテレビなどが視聴できることとなります。この期間にテレビ等の更新を計画してください。

問企画財政課 ☎46・3084

老人クラブ 会員募集中!!

図 福祉課 ☎ 43-1513



4月のイベントをチェック!!

図 商工観光課 ☎ 46-3269



雲岩公園つつじ祭
4/11(日) 10:00~15:00
雲岩公園



湧の千年ツバキまつり
4/18(日) 9:30~15:00
湧の千年ツバキ公園



加悦谷祭
4/24(土)・25(日)
加悦・野田川地域(三河内除く)

老人クラブ 会員募集中!!

図 福祉課 ☎ 43-1513

21世紀は高齢者の時代です。高齢であっても、地域の一員として役割を果たし、共に地域をすつていかなければなりません。個人では実現が難しくても、多くの高齢者が集うことにより、大きな力が発揮できます。

町内では弓削野町老人クラブが組織され、地域住民から尊ばれる高齢の町民でありたいの思いで、「健康・友愛・奉仕」の理念のもと、さまざまな活動に取り組んでいます。

【主な活動内容】

- クアハウス 健康体操
- 歩こう会
- シルバト運動会
- グラウンドゴルフ

老人クラブからのメッセージ

呼称や過去のイメージから、「まだ若いから…」と敬遠されている方もあられると思います。クラブでは、地域の奉仕活動や健康づくりにも力を入れています。年齢を重ねても、豊かな経験や知恵を活かし、健康で意欲的に活躍するため、当クラブに加入しませんか。たくさんのお待ちしています。

健康体操を行う会員



● ゲートボール
● 子供安心パトロール
● 独居老人宅訪問
● そうきん寄贈(学校等へ)
● 草取り、剪定作業
● 空き缶拾い
● 神社・公園等の掃除
● 各種教室(料理、生け花)
● カラオケ
● 囲碁

● 文化祭
● 史跡見学

【問い合わせ先】
弓削野町老人クラブ連合会
● 加悦地域 ☎ 42-7553
● 岩滝地域 ☎ 46-2396
● 野田川地域 ☎ 43-0294

地域の安心安全のため、防災拠点と車両を整備しました

消防車両詰所完成・消防ポンプ自動車更新

図 総務課 ☎ 46-3004

新しく完成した消防車両詰所



弓削野町消防団の中で最も古く老朽化が進んでいた加悦第2分団の消防車庫がこのほど新たに完成し、2月13日、竣工式が行われました(上写真)。

これまでの消防車庫は、昭和48年に建築されて以来36年にわたり、加悦第2分団消防団の伝統として出の詰まった車庫として今日まで活用されてきました。

しかし、長年の使用に伴い老朽化が著しく、弓削小学校の北側に新たに建設されました。建設費は4068万円。

今後は、消防団と地域の皆さんの消防・防災の新しい拠点としてさらなる活用が期待されます。

野田川第5分団ポンプ自動車更新



野田川第5分団の消防ポンプ自動車がこのほど更新され、1月24日に野田川庁舎で、太田町長から消防団に引き渡されました。

これまでの車両は、平成9年に配備されたもので、19年にわたり火災現場や防火活動等で活躍してきましたが、老朽化が進んでいたため、今回の更新となりました。購入費用は1753万円。

この消防車が火災現場において活躍することができるよう、皆さんで「火災ゼロのまち」を目指しましょう。

3/13(土)から「コミュニティバス ひまわり」が生まれ変わります

町営バス路線・運行ダイヤ再編

図 企画財政課 ☎ 46-3084



1年間の運行を終えて

民間のバス路線から離れた地区にお住まいの皆さんの日常の交通手段を確保することを目的に運行を始めた「コミュニティバス ひまわり」。

1年間の運行期間中、自家車をお持ちでない人々の買い物、通院などを中心に約4200人(平成22年1月末現在)のご利用がありました。

利用者からは、「外出する回数が増えた」といった喜びの声も聞かれ、町営バスの運行が住民の皆さんの生きがいや健康づくりにも役立つということが分かりました。

こういった買い物、通院などにご利用の皆さんに、加

新たな運行内容

新しい運行計画では、車の運転免許をお持ちでない高校生や、KTR野田川駅を通勤・通学でご利用の皆さんにも「コミュニティバス ひまわり」をご利用いただけるように、次のとおり変更します。

【路線】

- 奥滝線
従来の加悦奥・奥滝線から加悦奥地区をはずし、ウイル・明石・野田川庁舎間を延伸します。これにより、加悦谷高校や四辻地区へのご利用が便利になります。
- 加悦奥・石川線
従来の石川・桑岡線に加悦奥地区を統合し、野田川駅ルートの新設しました。これにより、これまでの巡回便に加え、野田川駅への通勤・通学にご

【時刻表】

詳しくは、全戸に配布した弓削野町バス・鉄道時刻表(左写真)でご確認ください。



【運行日・運行ダイヤ】

- 奥滝線の朝・夕の野田川庁舎便、加悦奥・石川線の朝・夕の野田川駅便は、毎日(日曜日、12月30日・1月3日を除く)運行します。
- これ以外の昼間時間帯は、奥滝線を月・水・金曜日、加悦奥・石川線を火・木・土曜日に分けて運行しますので、引き続き買い物などにご利用いただけます。
- 休日の利用を見込んで、祝日(月・土曜)も運行します。

【運賃】

これまでどおり、大人200円、小学生100円、小学生未満乗車料の均一運賃とし、引き続き回数券(1枚綴り2000円)もご利用いただけます。

加悦谷高、野田川駅への乗り入れ便を毎日運行

Point 3

- 奥滝線の第1便と第6便は野田川駅へ乗り入れ、日曜日、年末年始まで延伸して、日曜日、年末年始を除き毎日運行します。これにより、加悦谷高校への通学が大幅に便利になります。
- 加悦奥・石川線の第1便と第6便は野田川駅へ乗り入れ、日曜日、年末年始を除き毎日運行します。これにより、野田川駅を利用した通勤・通学が大幅に便利になります。
- これ以外の巡回便は、曜日分けて運行しますので、ご注意ください。



与謝野町の公共交通ネットワーク

与謝野町の公共交通は、北近畿タンゴ鉄道(KTR)、丹海バスを基幹交通に位置付け、「コミュニティバス ひまわり」は、2つの基幹交通を補う役割を担っています。

丹海バス、北近畿タンゴ鉄道も3月13日にダイヤを改正します。丹海バスは、これまでから加悦方面への夕方便が新設され、通勤・通学にますます便利になります。

今後もこれらの公共交通を地域の実情に合わせた便利で使いやすい乗り物として、そして私たちの公共交通として育てていきたいと思います。

路線再編で利便性が向上

Point 1

加悦奥・奥滝線 → 奥滝線

ウイルから野田川庁舎まで延伸し、さらに毎日運行便を朝1便・夕1便新設。

石川・桑岡線 → 加悦奥・石川線

加悦奥地区を含めた路線は再編成。さらに野田川駅への毎日運行便を朝1便・夕1便新設。

祝日(月・土曜日)も運行

Point 2

- これまで連休としていた祝日を、月曜日から土曜日であれば運行します。祝日の買い物や余暇、長期連休中でもバスをご利用いただけます。ご家族でもご利用ください。
- 日曜日の祝日は運休しますので、ご注意ください。

